

第4学年 国語科指導案

1 単元名 「生浜東ニュースを伝えよう」
～目指せ！スター記者～

2 単元の目標

○書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落を作ったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。

(思考力, 判断力, 表現力等 B (1) イ 構成の検討)

○比較や分類のしかた、必要な語句などの書き留め方、引用のしかたや出典の示し方を理解し使うことができる。

(知識及び技能 (2) イ 情報の整理)

○相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。

(思考力, 判断力, 表現力等 B (1) ア 題材の設定, 情報の収集, 内容の検討)

○進んで書く内容の中心を明確にして構成を考え、学習の見通しをもって、新聞をつくることのできる。

(学びに向かう力, 人間性)

3 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①比較や分類のしかた、必要な語句などの書き留め方、引用のしかたや出典の示し方を理解して使っている。</p> <p>((1) イ)</p>	<p>①「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落を作ったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。(B (1) イ)</p> <p>②「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(B (1))</p>	<p>① 進んで書く内容の中心を明確にして構成を考え、学習の見通しをもって、新聞作りに取り組もうとしている。</p>

4 単元について

(1) 本単元で扱う言語活動について

本単元は、調べたことをまとめて報告するなど、事実やそれを基に考えたことを書く単元である。「新聞」の特徴を簡単に押さえ、その特徴を意識して新聞作りを行う。

新聞は複数の情報を組み合わせて編集し、作られるものである。分担して取材をしたり、互いに意見を出し合ったりしながら、伝える内容やその方法を協力して判断することが求められる。判断する際には、自分が伝えたいことだけではなく読み手が知りたいことも考慮に入れて、「読みたいと思わせる新聞」を作ること意識させていきたい。

新聞には、読み手に効果的に伝えるための様々な工夫がされている。見出しの大きさ、記事の配置、写真や図などの工夫により、読者が直観的に情報を理解できるように設計されている。一目で何が起きているか、何が大きな課題になっているのかを把握しやすいため、社会全体の状況を把握するのに役に立っている。また、記事を作成するに当たって取材を行う必要があり、実地調査やアンケート、インタビュー、写真撮影、図書資料の活用など、多様な活動に取り組む必要がある。これまでに取り組んできた「引用するとき（3年生）」「仕事のくふう、見つけたよ（3年生）」「お礼の気持ちを伝えよう（4年生）」「要約するとき（4年生）」「聞き取りメモのくふう（4年生）」、そして本単元のコラム「アンケート調査のしかた」で学習したことを複合的に組み合わせて取り組ませていく。また、算数で学習したグラフや表を活用するなど、学習した内容を生かしながら新聞を作っていけるようにしたい。

今回は「生浜東ニュースを伝えよう」というテーマで新聞作りを行う。様々な視点から記事を作ることができるテーマを設定することで、児童が自分の伝えたい内容、読み手が知りたい内容を柔軟に考えることができるようにする。また、取材対象が身近であることから、児童が様々な取材方法で情報を集めることができる。自分たちの設定した記事の内容に合った取材方法や表現方法を考えながら新聞作りに取り組めるようにしたい。グループの友達と協力して新聞作りを行う中で、興味をもって読んでもらうという「目的」を意識して話し合い、対話的な学びが行われるようにしていく。また新聞は、友達と協力して複数の記事を組み合わせて作るものであるが、自分の担当記事をよりよいものにするという意識をもたせるために「スター記者」を目指すという意識をもって取り組ませていきたい。スター記者とは、新聞社を代表する記者のことである。自分が1番読んでもらえる記事を作るという意識をもって、情報の収集や記事作りに取り組めるようにしたい。児童が新聞記者になりきって、楽しく活動に取り組めるようにしたい。

(2) 本単元で身に付けさせたい力

(身に付けさせたい力について)

本単元は、学習指導要領「B 書くこと」の指導事項である「イ 書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落を作ったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること。」と「ア 相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。」の資質・能力育成を目指す。新聞を作るための情報を集め、集めた情報を基に読み手に伝わりやすい文章で記事を書くことができるようにする。

(手立てについて)

①読み手を意識した活動

今回の学習では、7月に個人面談のために来校する保護者に、学校のことを伝えることを目的として新聞作りを行う。保護者にとって学校は自分の子どもの通っている場所であり身近な場所であるものの、実際にそこでどんなことが起こっているのかはわかりにくい。そのため学校の様子がわかる新聞は、興味をもって読んでもらうことができると考える。また児童にとっても、慣れ親しんだ場所で起こっていることについて目を向けることで、学校にさらに愛着をもつことができると考える。

保護者に興味をもって読んでもらうためには、記事のテーマを考えること、取材をしっかり行うこと、割り付けや記事の書き方を工夫することが必要である。読み手を常に意識することで、一つ一つの過程の意味を考えながら活動に取り組めるようにしていく。

②協働的な学び→個別の活動→協働的な学びのサイクル

今回は学級全体で新聞のよさや構成を確認した後、グループごとにテーマに沿って内容を決定する。その後、児童がそれぞれ自分の分担の記事を書くための取材を行い、取材によって得た情報を持ち寄る。そして持ち寄った情報をもとに割り付けを考え、新聞を完成させていく。協働的な学習と個別の活動を繰り返すことによって、国語の学習や新聞作りに苦手意識がある児童の負担感を軽減することができる。取材の際には、取材の進め方の資料を提示し、児童が自分の取材内容に合った方法で取り組めるようにする。同一の資料で進めることが難しい児童には、さらに取材のしかたを詳しく提示するなどの個別の支援を行っていくことで、どの児童も自分で取材ができたという達成感を味わえるようにしていく。さらに「スター記者」を目指すという意識をもつことで、自分の記事をよりよくする方法を常に考えられるようにしていく。また国語とは関係なく、絵が苦手なことを気にして新聞作りに対して前向きになれない児童がいることも実態調査からわかったので、記事の内容以外の部分では友達のを借りてもよいことを伝え、それぞれの得意なことを生かすよさを感じられるようにしていく。

③ICTの活用

本単元ではGoogle フォームを使ってのアンケートの実施、写真の撮影、記事の下書き等、様々な面でギガタブを活用していく。必ず活用しなければならないということではなく、児童が選択して使えるようにしていきたい。特にGoogle フォームは今まで回答することはあっても、アンケートを作成することはしていないので、ギガタブ活用の方法の一つとして取り入れていきたい。

(3) (1) (2) の基盤となる言語環境や継続的な取組

①新聞に親しむための取組み

テレビやインターネット、SNS等の情報源の普及により新聞を購読している家庭が減少している。日常的に新聞を目にしていない環境の中では、新聞がどういった書かれ方をしているのか、レイアウトがどのようになっているのかなどのイメージがしにくい。そこで、毎日、新聞の一面を一緒に確認する活動を行うことで、新聞の特徴について児童が気付けるようにしていきたい。また同じ内容について新聞社によって書かれ方に違いがあることを確認し、何を重点に伝えたいかによって書き方が変わることも気付かせたい。みんなで一緒に読む時間以外にも興味をもった児童が読むことができるように新

聞を教室に用意し、児童が新聞を手に取りやすい環境を作る。その中で、一面に書いてあることが別の面でさらに詳しく書かれていることに気付き、一面にその新聞が最も伝えたいことが書かれていること、今回の新聞は一面の役割をしていることを意識させたい。

②「見出しを考えよう！」への取り組み

新聞の大きな特徴である「見出し」は、読み手の興味をひくための大切な要素である。内容を読んで、それを的確に表す見出し、興味をひく見出しを考えることをゲーム形式で行う活動を通して、楽しみながら新聞の特徴に親しめるようにしていく。自分で書いた記事に付ける見出しを考えることにつながる活動にしていく。自分で考えた後に友達と考えを交流することで、個別での取り組みと協働的な取り組みのそれぞれのよさを感じられるようにする。

③「4年2組今日のニュース」への取り組み

その日のできごとを、見出しをつけて記事にする活動に取り組む。全員でその日にあったことを振り返って記事にする活動に取り組む、見出しのつけ方や記事の書き方を理解できるようにする。できあがった記事は掲示し、児童が記事を書くときの参考にできるようにする。活動に慣れてきたら自分で取り組みそうな児童は連絡帳に自分で書くようにする。自信がない児童は引き続き一緒に取り組むようにし、各自ができる形で取り組んでいく。

5 単元計画 (全 10 時間)

次	時	学習活動		○指導や支援の手立て ◇評価方法 (方法)
	課外	○毎朝、新聞の一面にどんな内容が載っているか一緒に確認する。 ○教室に新聞を用意し、児童が手に取って見ることができるようにする。 ○記事を読んで自分だったらどんな見出しにするか考える「見出しを考えよう！」に取り組む。	新聞の一面を確認する、教室に新聞を用意する、「見出しを考えよう」「四年二組今日のニュース」	○新聞がどのようなものなのか、一般紙を使ってイメージできるようにする。 ○複数の新聞を用意することで、新聞社によって取り上げている内容や紙面の割き方に違いがあることを理解できるようにする。 ○正しい書き方や紙面上の工夫を、児童自身が新聞から発見できるようにする。 ○短い言葉で内容を表す見出しを、楽しみながら考えられるようにする。
第1次	1	○教科書の「にこにこ新聞」を読み、新聞の工夫を見付ける。 ○単元の学習の見通しをもつ。		○新聞には様々な工夫がされていることを確認し、新聞作りへの意欲をもてるようにする。 ○学習計画をもとに、「読みたいと思ってもらえる新聞を作る」という見通しをもつことができる。 ◇わかりやすく伝わる新聞を作ることについて問いを見出し、学習の見通しをもって、新聞作りに取り組もうとしている。 【態度】(観察・発言)
第2次	2・3	○新聞の内容について話し合う。 どんな記事が書けそうか具体的に考える。 ○取材には、どのような方法があるかを確かめる。		○読み手を意識した内容になるように座標軸を使用して話し合う。 ○教科書P98「アンケート調査のしかた」を確認する。アンケート以外の取材方法についての手引きを準備し、児童に提示する。 ◇グループで、テーマに沿った内容を考え、取材方法を確かめることができる。 【思・判・表】(記述・発言)
	4・5	○記事を分担し、記事を書くために必要な取材をする。	○記事に適した取材方法を確認し、適切な方法で取材が行われるようにする。 ○取材方法の手引きを用意し、児童が取材の流れを確認しながら取り組めるようにする。 ○一人一記事を担当することで、それぞれの児童が責任をもって活動に取り組めるようにする。 ○図書館指導員と協力し、図書資料からも児童が必要な情報を得ることができるようにする。	

			<p>◇目的に応じた取材をすることができる。</p> <p>【知・技】（記述・発言）</p> <p>【思・判・表②】（記述・発言）</p>
6 本 時	<p>○取材メモを基にトップ記事を決め、割り付けを考える。</p> <p>○考えた割り付けを基に、取材した内容が十分であるか検討する。</p>		<p>○自分たちの伝えたいこと、読み手の知りたいことを考えながらトップ記事を決め、全体の割り付けを考える。</p> <p>○トップ記事を決める話し合いにマトリックスを使用し、友達の記事の評価できるようにする。</p> <p>○取材内容が不十分な場合は、さらに追加で取材する時間を確保する。</p> <p>◇新聞の特徴を意識し、目的に応じた割り付けを考えることができる。</p> <p>【思・判・表②】（記述・発言）</p>
7 ・ 8 ・ 9	<p>○取材メモを基に、それぞれが担当する記事を書く。</p> <p>○記事を推敲し、清書して新聞を仕上げる。</p>		<p>○手書きでもギガタブを使用してもよいことにし、児童が自分のやりやすい方で下書きができるようにする。</p> <p>○ます目のある用紙を用意し、字数や文字の配置を意識しながら書けるようにする。</p> <p>○チェックシートを使って自分の記事や友達の記事を推敲することで、書いたものに自信をもてるようにする。</p> <p>◇相手や目的を意識して記事を書き、新聞を完成させることができる。</p> <p>【思・判・表①】（新聞）</p>
第 3 次	<p>○作った新聞を読み合い、感想を伝え合う。</p> <p>○単元の学習を振り返る。</p>		<p>○新聞を掲示した近くに感想スペースを設け、読んだ人に感想を書いてもらえるようにする。</p> <p>○①取材をするときにどんなことに気を付けたか。</p> <p>②割り付けを考えるときに、どんなことに気を付けたか。</p> <p>③次に新聞を作るときは、どんな工夫をしたいか。</p> <p>以上3つの視点から振り返りができるようにする。</p> <p>【態度】（発言・記述）</p>

7 本時の学習

(1) 本時の目標

新聞の特徴を意識し、目的に応じた割り付けを考えることができる。

(思考力, 判断力, 表現力等 B (1) ア 題材の設定、情報の収集、内容の検討)

本時の展開 (6/10)

学習活動と内容	指導や支援の手立て (◇は評価)
<p>1 前時までの学習内容を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取材メモを用意し、それを生かしながら次の活動に進むことを確認する。 ・記事を書き始める前に、新聞全体の構成を考える必要があることを想起させる。 <p>2 本時のめあてを確認する。</p>	<p>○教科書の新聞を拡大して掲示し、新聞の特徴や工夫を確認できるようにする。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>トップ記事を決めて、新聞のわり付けを考えよう。</p> </div> <p>割り付けのポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読む人にいちばん知らせたい記事を、目立つところで大きく取り上げる。 ・それぞれの記事の内容を伝えるために必要な大きさを考える。 ・読む人に注目してもらえる場所に、見出しをおく。 ・何を写真や図にするとよいか考え、大きさと場所を決める。 	<p>○割り付けのポイントを掲示し、児童が確認しながら取り組めるようにする。</p>
<p>3 取材メモを基にグループの友達と話し合っってトップ記事を決め、割り付けを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マトリックスを使用してトップ記事を決める。 ・割り付け用紙を使用し、どの記事にどのぐらいスペースを使うか決める。 ・写真や図、グラフの大きさや場所を考える。 ・見出しの大きさや場所を考える。 	<p>○マトリックスを使用して、それぞれの取材メモを評価できるようにする。</p> <p>○割り付けのパターンを数種類用意し、自分たちで割り付けを決めるのが難しいときにはそのパターンの中から選ぶことができるようにする。</p> <p>◇新聞の特徴を意識し、目的に応じた割り付けを考えることができる。</p> <p style="text-align: center;">(ワークシート・発言)</p>

<p>4 考えた割り付けを基に、記事にするときには足りないものがないか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要な写真は用意されているか。 ・図や絵は決めてあるか。 ・グラフはどのようにすると見やすいか。 ・記事にするための材料は十分に揃っているか。 <p>5 学習の振り返りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読む人がとくに読みたいと思う内ようをトップ記事にすることができたか。 ・割り付けを決めることができたか。 <p>6 次時の学習の見通しをもつ。</p>	<p>○実際に新聞作りをする大きさの紙を用意し、イメージをしやすくする。</p> <p>○新聞作りの紙（模造紙）は各グループで2枚ずつ配付し、1枚は割り付けに合わせて切って使えるようにする。</p> <p>○振り返りシートを使用し、一つ一つの活動が読みたいと思ってもらえる新聞作りにつながることを感じられるようにする。</p>
---	---